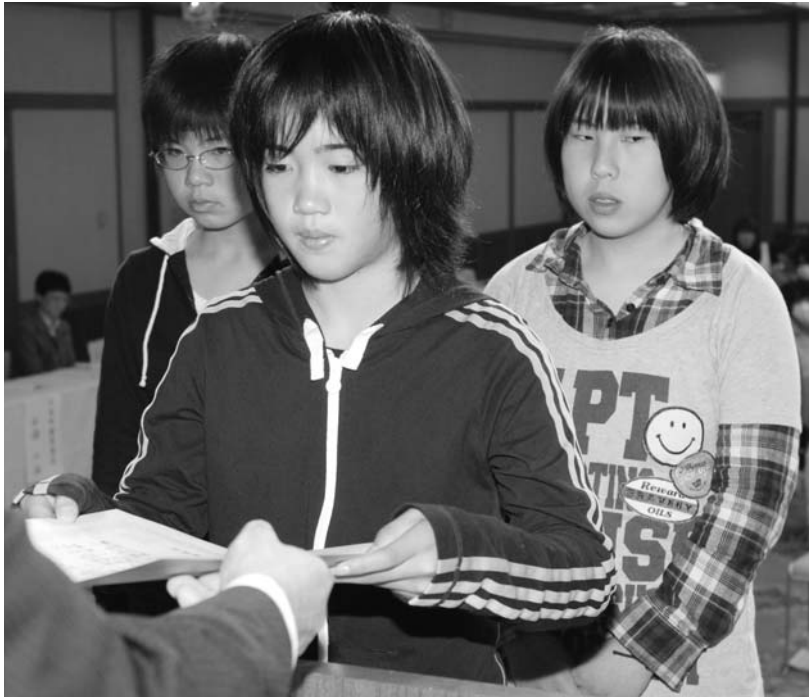


豊かな表現力・日々の努力

優秀な選手や作品を表彰

町芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞 町民文芸コンクール 表彰式

平成22年度只見町教育委員会芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式と、第34回只見町民文芸コンクール表彰式が、3月5日に季の郷湯らりで行われました。



入賞者全員に表彰状が手渡されました

部門(作文・詩・短歌・俳句)26
5点の応募作品の中から審査の結果選ばれた、優秀作品の入賞者が、表彰を受けました。

齋藤修一教育長は、「積み上げてきた力をさらに研鑽し伸ばしてほしい。今回取り組んだすばらしさや楽しさを多くの人に知らせ伝えていくことが大切。この活動が文化の広がりにつながり、10年後にはすばらしい人に出会えます。ぜひ実行してください」とあいさつをしました。

町民文芸コンクールの講評で角田行雄文芸コンクール作文部門審査委員長は、「物事には苦しみや悩みもあります。この部分の心の動きが作文には必要で自分の気持ちや考えをもっと表現してみてください。来年も良い作品に出合えることを期待しています」と述べました。

町民文芸コンクールの各部門で特選に輝いた作品をご紹介します。

表彰式では、はじめに芸術文化賞を受賞された1名と1校、そしてスポーツ優秀選手賞に輝いた2名と2団体が表彰されました。続いて町民文芸コンクール4

短歌部門



小学校下学年の部特選

只見小1年 きつ かれんさん

なつやすみ

すいかをたべたよ ばあちゃんち
なぜだかつまい、おかあさんもそう



小学校上学年の部特選

明和小6年 河原田 美咲さん

始業式

今日から私も 六年生
心がはじける 最高の日に



高校生の部特選

只見高2年 一条 さやかさん

進路決め

いろいろ調べて みて気付く
意外と自分は 自分を知らない



一般の部特選

只見 清野 アサエさん

若き日の

一途な思ひに 北遠く
求めし原野の 処分に迷ふ



作文部門
小学校下学年の部

一本を取るまで

只見小3年 鈴木 伶菜さん



私は、夏休みが始まってすぐの七月二十五日に、剣道の坂下大会に出場しました。私は、一年生の時に剣道を始めましたが、大会で一回も勝つたことがありません。だから、今回の大会では、一本取るか勝つてみたいという気持ちが強くありました。

しあいが近くなると、れん習がきびしくなります。とくに、坂下大会前のれん習は、暑いのでつらいです。でも、けい古をがんばった後は、自分が強くなった気がするし、すつきりとして気持ちも引きしまります。

いよいよ大会の日、私たち剣道部は、朝早く集合して、大会の会場へ向かいました。会場へ着くと、たくさん学校の人が来ていて、もう、れん習をしています。私は、みんな強そうに見えて、少しこわくなってしまいました。れん習と開会式が終わって、いよいよこじんせんの始まりです。私のたいせん相手は、私より、せが高かったの、「強そうだな。」と思いました。
しんぱんの「はじめ。」
の合図で、しあいが始まりま

した。相手がせめてきた時、私は、よけて後へ下がってしまった。私は、あつという間に二本の面を取られて負けてしまいました。私は、「自分はまだまだだ。」と思いきや、く、なみだが出てきました。

こじんせんが終わると次は、だんたいせんです。女子は、三人でたたかいました。私は、二番目の中けんでした。相手を見ると、また「強そうだな。」と思いました。こじんせんの時は、気持ちが弱くなって、後ろへ下がり負けてしまったので、今度こそ前へ出ようと思いました。

「はじめ。」
「一本目です。しんぱんの、かかったと同時に、むがむちゅうに」
「メン。」
と、うつていきました。でも、なかなか決まりません。何度も何度も前へ出てうちますが、しんぱんは、なかなか一本を取ってくれませんで「今度こそ。」と思うほどあせりました。

そして、しんぱんの「やめ。」
と言う声がかかり、一本目の二分が終わりました。相手もまた一本を取っています。もう一回しんぱんの「はじめ。」
で、さい後の二分間が始まりました。私は、もう何も考えなくて、あきら

めずに、どんだんうっていききました。でも、なかなか一本になりませんでした。そうしているうちに、とつぜん、しんぱんの「面あり。」
と言う声が聞こえました。しんぱんのはたは、自分のたすきの色の赤が上っていました。やっと一本取ることができたのです。そして時間切れになり、勝つことができました。はじめて一本取って勝つことができました。ほつとしました。「やつと勝てたんだ。」と信じられない感じがしました。おうえんに来てくれた家族も「よくがんばったね。」
とよろこんでくれました。友だちも「よかったね。」
と言ってくれました。とてもうれしかったです。

私は、剣道で一本取るのは、かんとんではないことと、たくさんれのれん習がひつようだということがわかりました。そしてしあいの時は、あきらめずに前へ出て、うち続けることが大切だということもわかりました。そして大会が終わって、私は前よりも剣道がおもしろくなりました。少ししんもつきました。これからも、剣道部のなかまたちといっしょに、けい古をがんばりたいと思います。

俳句部門



小学校下学年の部特選
朝日小2年 ほり金 ふうかさん
赤とんぼ
わたしのゆびに
とまるかな



小学校上学年の部特選
明和小6年 菅家 成美さん
沢の水
ブナを育てる
恵みの森



中学生の部特選
只見中3年 横田 開さん
秋の夜に
月てらされ
ランニング



高校生の部特選
只見高1年 三瓶 志門さん
葉桜が
僕らの夏を
教えてる



一般の部特選
黒谷 守山 リウ「さん
秋の川
兵士送りし
橋に佇つ



作文部門
小学校上学年の部

心落ち着く只見町

只見小5年 目黒 史也くん



ぼくは、テレビを見ながら、いつもいろいろ考えています。特に、ぼくが住んでいる只見町では、絶対に起こらないような事件のニュースを聞くと、家族でも話題になり、いろいろ話します。よくお母さんは、

「自分が子供のころは、こんなことはなかったのに。」と言います。こんなことは、つまり、人の命を簡単にうばってしまうということ

です。まったく知らない人間が、まったく知らない人間を殺してしまう事件も少なくありません。けいさつや弁ご士が、どうして殺してしまっただのか理由を聞くと、「だれでもよかった。」とか、「頭に来たから。」「むしやくしやした。」というような無責任なものばかりです。ぼくには、理解できません。まったくくしみやうらみもないのに、どうして人を殺してしまえるのだろうと考えてしまいます。も

ちろん、くしみやうらみがあるからと言って人を殺すことは、許されませんが。

ぼくは、まだ本当に命の大切さを分かっているとは言えませんが、命がなくなることは、未来がなくなるといことは分かります。殺されてしまった人の未来も、殺した人の未来もです。未来がなくなるといことは、「やりたいことができなくなる」ということ。「夢がかなわなくなる」といこと「だ」と思います。

ぼくは、毎日学校に通って勉強したり、友達と遊んだりしています。また、放課後は、ソフトボールの練習をしてみんなと楽しく過ごしています。でも勉強が分からなくてやりたくないこともあります。ソフトボールの練習がたらくて、やめたくなることもあります。そんな時は、「どうして自分ばかりつらい思いをしなくちゃいけないんだろう。」

と、思います。やつてはいけないことをしてしまい、先生やお母さんからおこられることもたくさんあります。そんな時は、

「どうして自分ばかりおこられるなくちゃいけないんだろう。」と、頭に来ます。頭に来ると、みんなが悪く思えて文句を言ったり物に当たったりすることもあります。後で、落ち着いてから考えると、自分が悪かったと分かることも、こうふんしているとき

に、自己中心的に考えてしまい、気づくことができません。気づかせてくれるのは、考える時間をくれるお母さんや先生、そして、たくさんの友達です。きつと、人を傷つけてしまったり殺してしまったりする人は、心を落ち着

けることができないのではないかと思います。何か自分の思うようにいかなかった時に、じつくりと考えるようや場所がなかったり、一緒に考えてくれる親しい友達がいなかったりするのかもしれない。案外、ぼくのように、友達と話をすることが多いと気持ち晴れてほがらかくなるのではないかと思います。ぼくも、ふだんは、特に感じませんが、人とたくさんのつながりがあるということ、とても大事な

点只見町は、いつでも、どこにいても、気軽に声をかけてくれるやさしい人ばかりなので、ぼくは、とてもめぐまれているなあと感じることがあります。

それだけではなく、只見の自然もぼくにとっては大事です。いろいろな生き物や草などを見ていると自然と心が落ち着くことが多いからです。ぼくは、よく、お母さんの生まれた家の近くにある黒谷川で遊ぶことがありますが、とても冷たくてきれいな川です。石で水切りをして遊んでいると時間が経つことやいやなことを忘れてしまいます。水の中の石を取って川虫を観察することにも、むちゅうになります。また、静かで、緑豊かなブナの森に入ると、すみ切ったおいしい空気を吸えば、心がすうつと落ち着きます。そこで生きている生き物達も同じ思いだろうと考えるともっと幸せになります。

田んぼの黄金色の稲穂を見ても心が落ち着くし、そのお米が、お母さんの手料理でおいしく食べられることを想像すれば、元気にもなります。つまり、只見の自然が、

ぼくの心をすつきりときれいにしてくれているような気がしています。

ぼくは、これから大人に近づいていきます。きつと、やりたいことや夢を見つけて、どんな未来へ向かって変わっていくと思います。考えたくはありませんが、人を傷つけるようなやいな事件は、この日本からなくならないかもしれません。それでも、只見町のやさしさにあふれた人と人のつながりや、豊かな自然は、今のまま変わらずに残っていてほしいと思います。いえ、自分達の未来を守るために、ぼくらが努力して残していかなければならないのではないかと思います。

◀表彰を受ける目黒くん



第34回 おめでとう

町民文芸コンクール入賞者

(敬称略)

【作文部門】

■小学校下学年の部

◎特選 鈴木 伶菜(只見小3年)
▽入選 につくたいよう(只見小1年)

▽佳作 わたなべゆうひ(朝日小1年)
いがらしせな(只見小1年)

さかいかなえ(只見小1年)
鈴木凜太郎(只見小3年)

■小学校上学年の部

◎特選 目黒 史也(只見小5年)
▽入選 栗城 涼花(明和小6年)

▽佳作 酒井 結咲(只見小5年)
菅家 雄矢(只見小6年)

菅家ともみ(朝日小6年)
渡部 優花(朝日小6年)

■中学生の部

▽入選 吉津 千晶(只見中1年)
▽佳作 日野 涼(只見中1年)

藤田 百生(只見中3年)

▽入選 飯塚 奈央(只見中2年)
渡部 美咲(只見中3年)

■高校生の部

▽入選 清野 勇斗(只見高1年)

■一般の部

▽入選 角田しつえ(小林)

【短歌部門】

■小学校下学年の部

◎特選 きつかれん(只見小1年)
▽入選 さかいかなえ(只見小1年)

▽佳作 酒井 咲星(只見小2年)
関谷恵里香(只見小3年)

■小学校上学年の部

◎特選 河原田美咲(明和小6年)
▽入選 菅家 雄矢(只見小6年)

酒井 雪音(朝日小5年)
五十嵐 蓮(只見小5年)

▽佳作 菅家 琉生(明和小6年)

■中学生の部

▽入選 柳下 一貴(只見中2年)
▽佳作 増田 奈歩(只見中2年)

藤田 百生(只見中3年)

■高校生の部

◎特選 一条さやか(只見高2年)
▽入選 目黒結衣香(只見高2年)

星 満里奈(只見高2年)

▽佳作 関谷香央里(只見高3年)

五十嵐恵梨(只見高3年)

■一般の部

◎特選 清野アサエ(只見)
▽入選 新國由紀子(只見)

目黒 富子(黒谷)
船木トモ子(黒谷)

三瓶 忠平(大倉)
齋藤チヒロ(亀岡)

【俳句部門】

■小学校下学年の部

◎特選 ほり金ふうか(朝日小2年)
▽入選 はそめしゅうと(只見小1年)

横山 大ぎ(朝日小3年)
おのゆづぎ(只見小1年)

▽佳作 菅家 夏芽(只見小3年)
菅家 尚真(朝日小3年)

■小学校上学年の部

◎特選 菅家 成美(明和小6年)
▽入選 大竹 涼華(只見小4年)

高橋 涼花(明和小5年)
菊地 萌花(明和小6年)

▽佳作 酒井香菜子(只見小5年)
馬場 麻綾(只見小6年)

吉津 万尋(朝日小4年)
梁取 水咲(明和小5年)

■中学生の部

◎特選 横田 開(只見中3年)
▽入選 山内 結(只見中1年)

▽佳作 馬場 康平(只見中2年)
菅家いつみ(只見中1年)

馬場 美月(只見中2年)

■高校生の部

◎特選 三瓶 志門(只見高1年)
▽入選 渡部 宏章(只見高2年)

小林さつき(只見高3年)
鈴木 優太(只見高3年)

▽佳作 矢澤 明宏(只見高1年)
山井 雅美(只見高2年)

渡部 安菜(西郷養学校1年)

■一般の部

◎特選 守山リウコ(黒谷)
▽入選 五十嵐邦男(只見)

三瓶タカキ(黒谷)
目黒 富子(黒谷)

▽佳作 吉田 六郎(只見)
吉津 佑(只見)

船木トモ子(黒谷)

鈴木伶菜さん(小学校下学年の部、作文特選)



おめでとう

平成22年度芸術文化賞

スポーツ優秀選手賞受賞者

(敬称略)



スポーツ優秀選手賞を受賞した只見高校女子卓球部2年生の皆さん

【芸術文化賞受賞者】

◎菅家ともみ(朝日小6年)

|| 第3回税に関する絵はがき
コンクール県特選

◎只見中学校

(代表者:飯塚かすみ・飯塚奈央)

|| 福島県小・中学校音楽祭
(第3部創作)学校賞

【スポーツ優秀選手賞受賞者】

◎目黒郷(只見中2年)

|| 第53回福島県中学校体育大会
スキー競技大会男子回転第1位

◎川合祥太郎(聖光学院高1年)

|| 第62回秋季東北地区高等学校
野球福島県大会第1位

◎明和スポーツ少年団6~2年生

(栗城涼花・馬場楓・河原田美咲・高橋涼花・角田妃菜子・若林愛梨・角田真央・山内花・高橋はるか・菊地みずき・山内理子・梁取結花)

|| うつくしまふくしま第33回福

島県小学生バレーボール選手
権大会会津大会第1位

◎只見高等学校女子卓球部2年生

(新国真理恵・鈴木亜美・五十嵐花奈恵・長谷部千晶・吉津真奈)

|| 平成22年度福島県高等学校新

人体育大会卓球競技会津地区
大会女子団体第1位

各賞の表彰基準

芸術文化賞の表彰基準は、全県のコンクール等で最上位、東北地方のコンクール等で上位3位相当以内、全国のコンクール等で上位5位相当以内です。

スポーツ優秀選手賞の表彰基準は、全会津の大会で1位、全県の大会で3位以内、東北地方およびそれに準ずる大会で6位以内、全国の大会で10位以内です。



▲各賞を受賞された皆さん「おめでとうございます」